

中学歴史 江戸時代⑤

<input type="checkbox"/> (1) 17世紀末から18世紀ごろの元禄文化は、()を中心に栄えた町人文化である。→ 綱吉の時代に、京都や大阪を中心に栄えた。	(1)
<input type="checkbox"/> (2) 元禄文化の代表的人物で、人形浄瑠璃の台本を書いた人物は誰か。 → 『曾根崎心中』などの脚本を書いた。	(2)
<input type="checkbox"/> (3) 元禄文化で、松尾芭蕉は()の分野で活躍した。 → 代表作に『奥の細道』がある。	(3)
<input type="checkbox"/> (4) 元禄文化の人物、井原西鶴は()と呼ばれる小説で、町人の生活をありのままに描いた。→ 代表作に『好色一代男』や『日本永代蔵』	(4)
<input type="checkbox"/> (5) 元禄文化において、()は浮世絵の分野で活躍した。 → 代表作に『見返り美人図』がある。	(5)
<input type="checkbox"/> (6) 元禄文化において、()は装飾画の分野で活躍した。 → 代表作に『紅白梅図屏風』がある。	(6)
<input type="checkbox"/> (7) 元禄文化のころに、演劇として庶民に親しまれた芸能を何というか。 → 上方に坂田藤十郎、江戸に市川団十郎などの名優。	(7)
<input type="checkbox"/> (8) 元禄文化のころ、庶民の生活にも変化があり、ひな祭りなどの()が広まった。→ 食事は1日3食が普通になった。	(8)
<input type="checkbox"/> (9) 化政文化は、19世紀前半に()を中心に栄えた町人文化である。	(9)
<input type="checkbox"/> (10) 化政文化において、()は小説『東海道中膝栗毛』の作者として有名である。	(10)
<input type="checkbox"/> (11) 化政文化の代表的人物である、曲亭(滝沢)馬琴の『()』は多くの人々に読まれた。	(11)
<input type="checkbox"/> (12) 化政文化のころ、与謝蕪村とともに俳諧(俳句)の分野で活躍した人物は誰か。→ 代表作に『おらが春』がある。	(12)
<input type="checkbox"/> (13) 化政文化のころ、鈴木春信が()という多色刷りの版画を始めた。	(13)
<input type="checkbox"/> (14) 化政文化のころ、()は美人画の浮世絵を描いた。 → 代表作に『ポッピンを吹く女』がある。	(14)
<input type="checkbox"/> (15) 化政文化のころ、()は風景画の浮世絵を描いた。 → 代表作に『富嶽三十六景』がある。	(15)
<input type="checkbox"/> (16) 化政文化のころ、俳句の形式(五・七・五)で幕府や世相を皮肉った()が流行した。	(16)
<input type="checkbox"/> (17) 化政文化のころ、短歌の形式(五・七・五・七・七)で幕府や世相を皮肉った()が流行した。	(17)
<input type="checkbox"/> (18) 日本の古典を研究し、日本古来の考え方を学ぶ学問を何というか。	(18)

<input type="checkbox"/> (19) 18世紀後半、国学を大成したのは誰か。 → 『古事記伝』を著した人物である。	(19)
<input type="checkbox"/> (20) オランダ語でヨーロッパの文化や学問を学ぶ学問を何というか。	(20)
<input type="checkbox"/> (21) 杉田玄白・前野良沢らは、オランダ語の解剖書を翻訳して『()』を出版した。→ 蘭学の基礎を築いた。	(21)
<input type="checkbox"/> (22) 西洋の測量術を学び、日本全国を測量して日本地図を作成した人物は誰か。→ 『大日本沿海輿地全図』を作成した。	(22)
<input type="checkbox"/> (23) 人材育成などのため、諸藩に設けられたものは何か。	(23)
<input type="checkbox"/> (24) ()が町や農村に開かれ、「読み・書き・そろばん」など実用的なことを学ばせた。	(24)